

別表(一)

全国学校募金一覽表

(自昭和二十八年三月五日
至昭和二十九年八月二十日)

府 県 名	応募学校数	応募人員	金 額
北海道	820	257,088	1,924,608.7
青森	296	92,911	617,673.8
岩手	542	132,991	470,710.0
宮城	366	190,913	1,284,733.9
秋田	276	111,599	637,490.0
山形	329	135,701	395,367.2
福島	437	170,758	1,025,592.2
茨城	334	159,021	923,293.7
栃木	784	356,078	2,362,737.7
群馬	455	215,772	711,494.9
埼玉	463	210,723	1,142,824.8
千叶	249	101,358	613,492.3
茨 奈	478	319,161	2,489,661.1
新潟	607	243,707	2,002,642.2
富山	185	85,283	439,615.5
石川	320	107,764	573,218.8
福井	156	70,355	310,382.2
山梨	88	44,117	196,607.7
長野	870	544,121	1,889,245.5
岐阜	462	177,823	968,089.9
静岡	454	231,803	1,276,699.9
愛知	478	282,818	1,588,522.2
三重	161	81,584	339,044.4
滋 京	103	47,027	215,390.0
大 阪	220	173,605	1,004,747.7
兵 庫	425	339,454	1,855,862.2
和 歌	408	262,393	936,831.1
鳥 取	467	148,598	1,114,632.2
島 根	194	63,451	266,456.6
山 梨	233	86,030	312,884.4
徳 島	318	93,860	565,398.8
香 川	464	185,147	857,859.9
愛 媛	580	357,130	1,479,799.9
高 知	315	117,773	707,173.3
福 岡	170	70,941	351,835.5
佐 賀	228	114,366	550,677.7
長 崎	117	47,399	374,567.7
大 分	138	32,283	180,569.9
熊 本	575	351,028	1,557,473.3
宮 崎	333	299,792	864,089.9
鹿 儿 岛	460	468,259	1,060,763.3
福 鹿 北	357	182,510	1,036,709.9
福 鹿 南	675	259,126	883,870.0
大 鹿	346	222,600	480,865.5
鹿 儿 岛 東	188	82,041	342,048.8
福 鹿 南	1,181	923,363	7,596,491.1
合 計	18,105	9,251,425	48,770,747.7

別表(二)

官公署募金一覽表

(自昭和二十八年三月五日
至昭和二十九年八月二十日)

地 方 庁		中 央 官 署		
府 県 名	金 額	省 別	箇 所 数	金 額
北海道	99,905	総 理 府	99	1,488,4
青森	40,681	法 務 省	269	700,5
宮城	4,155	外 務 省	1	43,4
秋田	61,290	文 部 省	4	57,9
山形	73,480	大 蔵 省	280	935,2
茨城	94,619	厚 生 省	216	495,9
栃木	60,795	農 林 省	36	88,2
群馬	86,002	通 産 省	8	169,8
埼玉	62,242	運 輸 省	36	204,9
神奈川	90,332	郵 政 省	1,165	1,442,3
長野	392,791	勞 働 省	1	19,6
富山	57,055	建 設 省	9	159,5
三重	65,746	国 有 鉄 道	0	
滋賀	52,016	専 売 公 社	54	367,3
大坂	99,066	電 々 公 社	291	797,4
兵庫	246,670	衆 議 院	1	36,6
奈良	21,075	参 議 院	1	26,5
鳥取	48,561	人 事 院	1	8,0
岡山	71,031	最 高 裁 判	1	543,6
広島	69,842			
山口	118,259			
徳島	32,119			
香川	61,055			
愛媛	71,875			
高知	16,170			
福岡	104,110			
佐賀	16,855			
長崎	93,507			
鹿児島	3,755			
東京	862,297			
小 計	3,177,356		2,473	7,585,9
合 計	2,503箇所			10,763,27

残著御見舞申し上げます。

扱て、かねて一方ならぬ御援助をいただきました沖繩戦災校舎復興募金運動は、お蔭様で去る六月末日良好な成果をあげて終幕を告げました。つきましては、ここにその経過を御報告致しますと共に謹んでお礼を申し上げますと存じます。募金運動は、昨年三月発足してから本年六月に至るまでの一年有餘に亘つて展開されましたが、この間、みなさまがお寄せ下さいました寄附額は、全国学校の児童、生徒を始め、中央地方を通ずる官公庁職員、それに財界、各種団体その他一般及び海外同胞からの淨財を合算致しまして実に六千三百二十万四千余円に達しました。

昨年は九州の風水害を始めとして、各地に瀕発致しました災害のため、経済的には恵まれない年でありましたにもかかわらず、これだけの実績をあげ得ましたことは先ず成功と申してよいと存じます。殊に、その応募人員が実に一千万人の多数に上りましたことは、戦争のぎせいとなり、言語に絶する戦禍を蒙りました沖繩の学童達に対して、いかに祖国の同胞が同情しているかを物語るものであり、この淨財は眞に尊く又温い友情の結晶として、我々募金関係者をひとしお感銘せしむるものでございます。

当後援会におきましては、八月二十八日評議員会を開催し、收支計算を承認すると共に贈呈金額を確定致しました。詳細は添付資料によつて御承知いただきたいと存じますが、寄附金及び利息収入から所要経費を差引き結局五千八百八十三万五千余円を沖繩へ贈呈することに決定、九月五日この金額を沖繩戦災校舎復興促進期會々長屋良朝苗氏宛交付致しました。右御報告申し上げます。

終戦九年後の今日にいたるもなお祖国の行政権外に置きざりにされている沖繩の学童達は恐らくみなさまの友情に感激し、この御好意に酬ゆるため一生懸命に勉強して立派な日本人としていつでも母国のお友達と肩を並べていけるように励むであろうことを確信致すものでございます。

なお、ここにつけ加えてみなさまに御知らせ致さねばならぬことがございます。それは米国琉球政府当局も、流石に沖繩戦災校舎復興問題をこのまゝ放置すべきでないと思われ、ついに「一、九五六米国会計年度中（昭和三十一年六月迄）には全校舎を完全に復興せしめる」との声明を發表せらるるに至り、目下急速にその復興建設が進められつつあることでもあります。

かくて終戦以來の懸案であつた沖繩の戦災校舎復興問題もここにてめでたく解決し、あのみじめな馬小屋教室が地上から姿を消す日もそう遠くないことは、もはや確定した事実であります。みなさまの御協力によつて進めて参りました募金運動も、ここに始めて有終の美をなしたわけで、誠に沖繩の学童達のため祝福すべきことであります。特にこのことを申上げて重ねてお礼を申し上げます。なお御関係のみなさまにも宜しくお伝え下さいますならば誠に幸に存じます。

昭和二十九年九月五日

沖繩戦災校舎復興後援会

会長 澁 沢 敬 三
副会長 高 嶺 明 達
副会長 有 光 次 郎

殿

